

令和6（2024）年度

環境経営レポート



対象期間：2024年4月1日～2025年3月31日

発行日 2025年7月15日



足利市清掃事業株式会社



目次

1. 登録範囲、組織の概要
2. 環境経営方針（基本理念・基本方針・環境目標）
3. 環境経営計画・活動内容
4. 実績・取組結果とその評価
5. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画
6. 環境関連法規などの順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟
などの有無
7. 代表者による全体の評価と見直し・指示

1. 登録範囲、組織の概要

1-1 登録範囲 全組織・全活動

1-2 組織の概要

(1) 事業所名：足利市清掃事業株式会社

(2) 所在地：栃木県足利市久保田町9-1-1番地

(3) 代表者：代表取締役 今泉和也

(4) 事業内容（登録範囲）：一般廃棄物収集運搬業

産業廃棄物収集運搬業

特別管理産業廃棄物収集運搬業

一般廃棄物・産業廃棄物の中間処理業

古物商

(5) 設立年月日：1972年6月1日

(6) 資本金：2,000万円

(7) 売上高：2024年度（2024/4/1日～2025/3/31） 9億9946万円

(8) 従業員数：86名

(9) 処理実績

① 産業廃棄物

(i) 収集運搬

廃棄物の種類	単位	収集運搬量
汚泥	t	126.17
廃油	t	9.20
廃酸	t	1.06
廃アルカリ	t	0.19
廃プラスチック類	t	1,385.68
紙くず	t	16.64
木くず	t	1,219.47
繊維くず	t	12.11
動植物性残さ	t	43.03
金属くず	t	114.18
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	t	398.18
がれき類	t	588.27
合 計	t	3,914.18

(ii) 中間処理

	廃棄物の種類	処理方法等	単位	処理量
中間処理	廃プラスチック類	破砕	t	1,352.97
	紙くず	焼却	t	16.20
	木くず	破砕	t	1,175.13
	木くず	焼却	t	0.13
	繊維くず	焼却	t	11.95
	金属くず	破砕	t	115.12
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	破砕	t	393.05
	がれき類	破砕	t	550.08
うち 再資源化等	廃プラスチック類	破砕	t	12.74
	木くず	破砕	t	210.88
	金属くず	破砕	t	115.13
	がれき類	破砕	t	396.08
	小 計		t	734.83
合 計			t	3,614.63

(iii) 中間処理後の産業廃棄物（最終処分・中間処理・再資源化等）

中間処理後の産業廃棄物		廃棄物の種類	処理方法等	単位	処理量等
	最終処分	燃え殻	管理型最終処分（委託）	t	3.01
		廃プラスチック類	安定型最終処分（委託）	t	820.63
		ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	安定型最終処分（委託）	t	132.23
		ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	管理型最終処分（委託）	t	188.04
		がれき類	安定型最終処分（委託）	t	154.01
		小 計			t
	中間処理 （再資源化等）	廃プラスチック類	破碎（発電燃料）	t	519.60
		木くず	破碎（発電燃料）	t	964.36
		ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	破碎（再生石膏）	t	72.79
		小 計			t
	合 計			t	2,854.67

② 一般廃棄物

(i) 収集運搬

廃棄物の種類		単位	収集運搬量
事業系	可燃ごみ	t	6116.32
	不燃ごみ	t	352.51
	資源ごみ（ダンボール）	t	1096.01
	資源ごみ（ミックスペーパー）	t	69.71
合 計		t	7634.55
家庭系	可燃ごみ	t	17861.02
	不燃ごみ	t	598.65
	資源ごみ（ ）	t	2170.74
合 計		t	20630.41
し尿・汚泥		t	0.00

(ii) 中間処理

	廃棄物の種類	処理方法等	単位	処理量・処分量	
中間処理	可燃ごみ				
	不燃ごみ				
	資源ごみ（ ）				
	資源ごみ（ ）				
	その他：生木・枝・葉	破碎	t	376.91	
	その他：				
	再資源化等	資源ごみ（ ）			
		木質バイオマス	発電燃料	t	376.91
小計				376.91	
合計				376.91	
中間処理後の最終処分					
合計				0.00	

③ 再資源の回収・収集等

再生資源の種類	単位	回収・収集等運搬量
ペットボトルフレーク	t	40.72
アルミプレス品	t	9.93
スチールプレス品	t	5.76
その他：		
その他：		

(10) 保有車両台数

※2025年6月30日現在

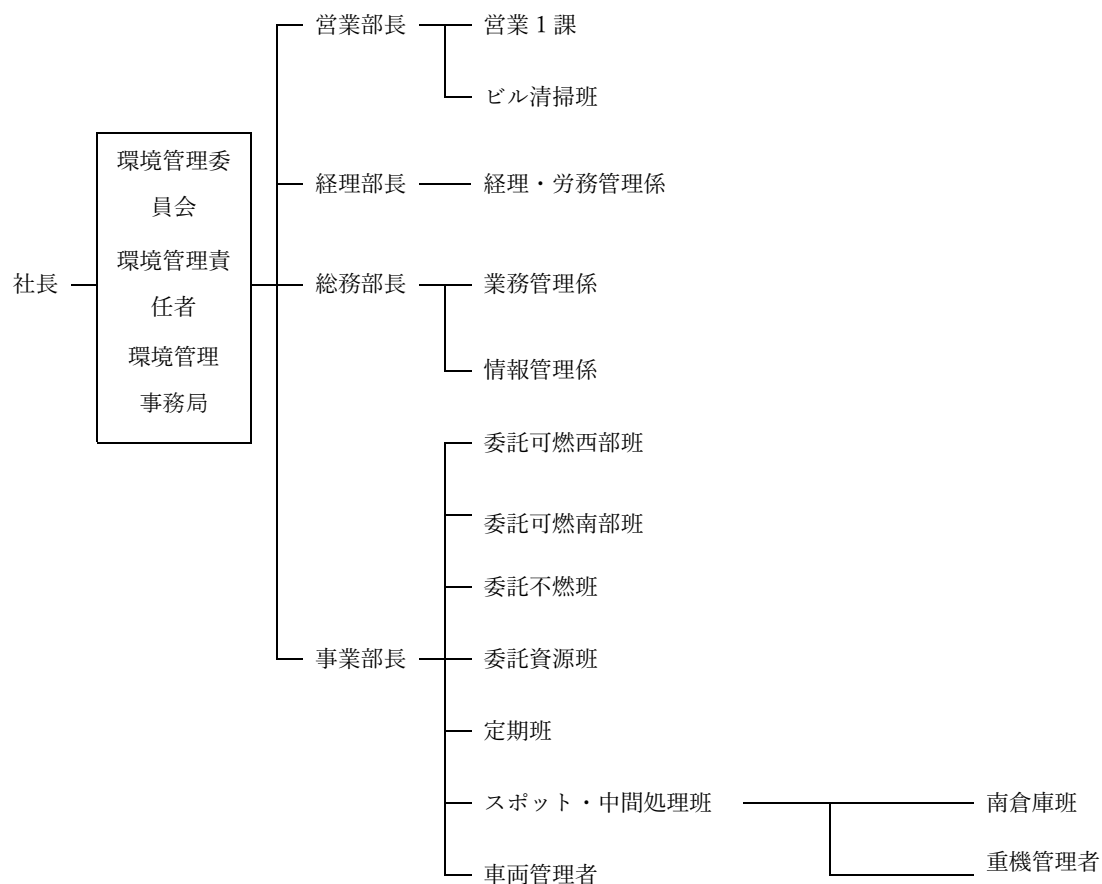
車種	台数
3 t パッカー車	16
4 t パッカー車	16
5.5 t パッカー車	2
4 t アームロール	4
8 t アームロール	1
11 t アームロール車	2
3 t ユニック車	3
2 t ダンプ車	5
軽ダンプ車	1
2 t 平ボディ車	9
3 t 平ボディ車	5
4 t 平ボディ車	1
8 t 平ボディ車	2
軽冷蔵冷凍車	1
4 t バキューム車	1
営業車	6
合計	75



(11) 産業廃棄物中間処理施設

施設	処理能力	
① 破砕施設 2基	ゴムくず、金属くず、ガラスくず コンクリートくず及び陶磁器くず	72.00 t / 日
	がれき類	24.00 t / 日
② 破砕施設	木くず	3.92 t / 日
③ 破砕施設	廃プラスチック類	4.80 t / 日
④ 焼却施設	紙くず	0.24 t / 日
	木くず	1.04 t / 日
	繊維くず	0.16 t / 日

(1 2) 環境経営組織図



役割	責任権限
社長	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針を定め、宣言する。 ・環境経営に取り組むための実施体制を構築する。 ・環境経営システムの取組状況を評価し、必要な指示を行う。 ・環境経営システム構築、運営、維持に必要な資源を提供する。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムを統括し、維持・運営を行う。 ・社長に取組状況を報告し、社長の指示を実行する。 ・環境関連法規の最新情報を管理し、法令、要求事項を順守する。
環境管理事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の指示に従い、環境負荷データ等を管理する。
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・部門の環境目標を達成させる為、活動を推進する。 ・部門内の情報伝達や、環境管理責任者への実施結果報告を行う。

(13) 事業の概要

① 一般廃棄物収集運搬

市町村	許可番号	許可年月日	有効期限
足利市	足利市指令生ク第47号	令和7年6月1日	令和9年5月31日
佐野市	佐野市指令環政第51号	令和7年7月1日	令和9年6月30日
小山市	小山市指令環第1-6号	令和6年4月1日	令和8年3月31日
太田市	39	令和5年10月1日	令和7年9月30日
館林市	館林市許可第888号	令和6年10月1日	令和8年9月30日
大泉町	第7-13号	令和7年7月4日	令和9年7月3日
邑楽町	邑楽町許可第13号	令和7年7月1日	令和9年6月30日
千代田町	千代田町許可第5-21号	令和6年2月16日	令和8年2月15日

② 産業廃棄物収集運搬

県名	許可番号	許可年月日	有効期限																				
栃木県	00910001261	令和3年10月10日	令和10年10月9日																				
・燃え殻・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず ・動植物性残さ・金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類 積替保管： <table> <tr> <td>・汚泥</td><td>保管面積</td><td>6.00 m²、保管容量</td><td>4.000 m³</td></tr> <tr> <td>・廃油</td><td>保管面積</td><td>6.00 m²、保管容量</td><td>0.980 m³</td></tr> <tr> <td>・廃プラスチック類</td><td>保管面積</td><td>24.00 m²、保管容量</td><td>25.400 m³</td></tr> <tr> <td>・紙くず</td><td>保管面積</td><td>6.50 m²、保管容量</td><td>9.100 m³</td></tr> <tr> <td>・動植物性残さ</td><td>保管面積</td><td>6.00 m²、保管容量</td><td>4.000 m³</td></tr> </table>				・汚泥	保管面積	6.00 m ² 、保管容量	4.000 m ³	・廃油	保管面積	6.00 m ² 、保管容量	0.980 m ³	・廃プラスチック類	保管面積	24.00 m ² 、保管容量	25.400 m ³	・紙くず	保管面積	6.50 m ² 、保管容量	9.100 m ³	・動植物性残さ	保管面積	6.00 m ² 、保管容量	4.000 m ³
・汚泥	保管面積	6.00 m ² 、保管容量	4.000 m ³																				
・廃油	保管面積	6.00 m ² 、保管容量	0.980 m ³																				
・廃プラスチック類	保管面積	24.00 m ² 、保管容量	25.400 m ³																				
・紙くず	保管面積	6.50 m ² 、保管容量	9.100 m ³																				
・動植物性残さ	保管面積	6.00 m ² 、保管容量	4.000 m ³																				
群馬県	01000001261	令和4年7月3日	令和9年7月2日																				
・燃え殻・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず ・動植物性残さ・ゴムくず・金属くず・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず ・がれき類																							
埼玉県	01104001261	令和6年8月16日	令和11年7月8日																				
・燃え殻・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず ・動植物性残さ・金属くず・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類																							
茨城県	00801001261	令和5年5月15日	令和10年3月27日																				
・汚泥・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・金属くず ・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類																							

千葉県	0 1 2 0 0 0 0 1 2 6 1	令和 3 年 2 月 3 日	令和 7 年 12 月 12 日
・ 廃プラスチック類・木くず・ゴムくず・金属くず・ ・ ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類			

③ 特別管理産業廃棄物収集運搬

県名	許可番号	許可年月日	有効期限
栃木県	0 0 9 5 0 0 0 1 2 6 1	令和 3 年 10 月 10 日	令和 10 年 10 月 9 日
・ 感染性産業廃棄物 ・ 廃油 （揮発性、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン） ・ 廃酸 （腐食性） ・ 廃アルカリ （腐食性）			
群馬県	0 1 0 5 0 0 0 1 2 6 1	令和 2 年 12 月 10 日	令和 7 年 12 月 9 日
・ 感染性産業廃棄物 ・ 廃油 （揮発性）			

産業廃棄物収集運搬許可車両台数（単位：台）

	栃木県	群馬県	埼玉県	茨城県	千葉県
11 t アームロール車	2	2	2		1
8 t アームロール車	1	1	1	1	1
4 t アームロール車	4	4	4	1	
4 t パッカー車	7	6	2	1	
3 t ユニーク車	3	3	3	1	1
2 t ダンプ車	5	5	2	1	
軽ダンプ車	1	1			
2 t 平ボディ車	1	1	1	1	
3 t 平ボディ車	5	5	3		
4 t 平ボディ車	1	1	1	1	
8 t 平ボディ車	2	2	2		1
冷蔵冷凍車	1				
4 t バキューム車	1	1			

④ 産業廃棄物処分

事業の範囲：中間処理（破碎・焼却）

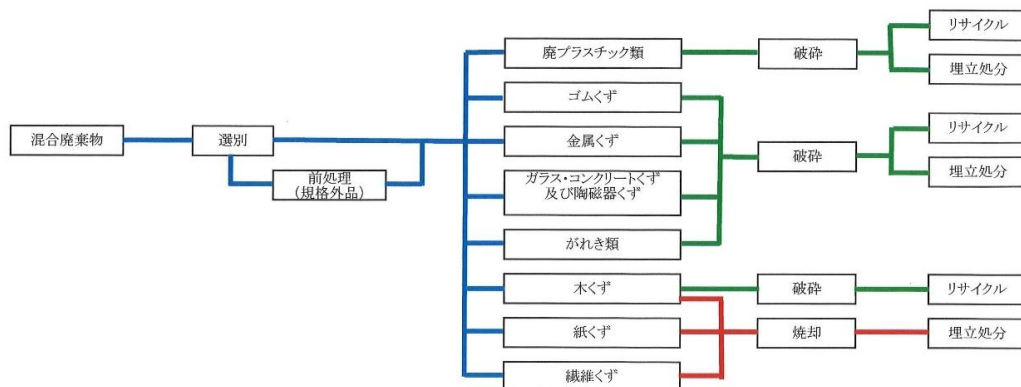
県名	許可番号	許可年月日	有効期限
栃木県	00920001261	令和3年8月5日	令和10年8月4日
<p>破碎に係るもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゴムくず・金属くず・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず 処理能力 72.0 t / 日 ・ がれき類 処理能力 24.0 t / 日 ・ 木くず 処理能力 3.92 t / 日 ・ 廃プラスチック類 処理能力 4.80 t / 日 <p>焼却に係るもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 紙くず 処理能力 0.24 t / 日 ・ 木くず 処理能力 1.04 t / 日 ・ 繊維くず 処理能力 0.16 t / 日 			

⑤ 一般廃棄物処分

事業の範囲：中間処理（破碎・焼却）

市町村	許可番号	許可年月日	有効期限
足利市	足利市指令生ク第169号	令和6年2月24日	令和8年2月23日
<p>破碎に係るもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃プラスチック類（1.2 t / 日以下）、木くず（2.0 t / 日以下） <p>焼却に係るもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 紙くず（0.16 t / 日以下）・木くず（0.56 t / 日以下）・繊維くず（0.08 t / 日以下） 			

⑥ 産業廃棄物中間処理フロー図



環境経営方針

基本理念

足利市清掃事業株式会社は、足利市を中心とする地域の皆様と共に廃棄物の適正処理、生活環境の保全に取り組み、持続可能な循環型社会を形成する事により、地元社会に貢献する事を目指しています。

基本方針

環境経営システムの継続的改善を図ります。
汚染の予防及び持続可能な資源の利用を図ります。
当社の業務に関する環境関連法規その他の要求事項を順守します。
廃棄物のリサイクルを推進します。
資源、エネルギーの使用量を削減し、維持管理します。
効率的に業務を実施し、継続的な事業展開を推進します。

環境目標

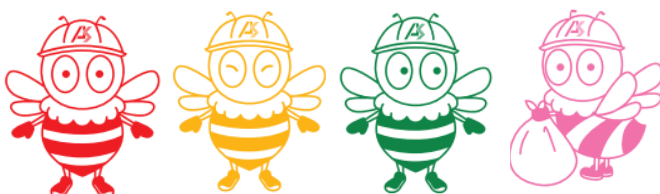
- 1 2027年度迄に二酸化炭素排出量を2023年度対比2%削減する。
- 2 2027年度迄に廃プラのリサイクル率を2022年度対比10%アップする。
- 3 2027年度迄に業務用車両の燃費を2023年度比2%向上する。
- 4 2027年度迄に電力使用量について2023年度比2%削減する。
- 5 作業効率について2016年度比10%アップを維持する。
- 6 車両の修繕費について2012年度比20%削減を維持する。
- 7 2027年度までに持込客数を2017年度比15%アップする。

制定：2024年 8月17日

改訂：2025年 5月25日

足利市清掃事業株式会社

代表取締役 今泉 和也



環境経営目標(中長期及び単年度目標)

項目	中長期目標	達成期限	責任者	2023年度目標	2024年度目標	2025年度目標	2026年度目標	2027年度目標
二酸化炭素の排出量削減	1. 二酸化炭素排出量の削減 2027年度まで2023年度対比2%削減 2023年度実績: 666, 529kg	2028/3/31	総務部長	実績把握	0. 5%削減	1%削減	1. 5%削減	2%削減
					663,196 kg以下	659,864 kg以下	656,531 kg以下	653,198 kg以下
	2. 電力使用量の低減 2027年度まで2023年度対比2%削減 2023年度実績: 91,312kwh	2028/3/31	総務部長	25%低減	25. 5%低減	1%低減	1. 5%低減	2%低減
				120,500 kwh以下	119,764 kwh以下	90,399 kwh以下	89,942 kwh以下	89,486 kwh以下
	3. 業務用車両の燃料使用量の低減 2027年度まで2023年度対比 燃費を2%向上させる 2023年度実績: 4.34km/L	2028/3/31	各班長	10%低減	10. 5%低減	1%向上	1. 5%向上	2%向上
						4.38 km/L以上	4.41 km/L以上	4.43 km/L以上
	4.ソーラーパネル発電の維持管理 2017年度同程度を維持する 2017年度実績: 53, 558kwh	2028/3/31	管理係	50,000kwh 以上発電	50,000kwh 以上発電	50,000kwh 以上発電	50,000kwh 以上発電	50,000kwh 以上発電
廃棄物排出量の削減	1. 廃プラスチックのリサイクル率向上 2027年度迄に廃プラのリサイクル率 を2022年度対比10%向上する 2022年度実績: 50%	2028/3/31	中間処理 班長	52%以上	54%以上	56%以上	58%以上	60%以上
	2. 事業系一般廃棄物の削減 2024年度の排出量を基準として 2027年度までに10%削減する 2024年度実績: 1092kg	2028/3/31	総務部長	*****	実績把握	3%削減	7%削減	10%削減
						1059 kg以下	1016 kg以下	983 kg以下
水使用量の削減	4.地下水使用量の削減 2027年度まで2019年度対比 40%削減を維持する 2019年度実績: 6,601L	2028/3/31	委託可燃 班長	40%削減を維持	40%削減を維持	40%削減を維持	40%削減を維持	40%削減を維持
				4,000 L以下	4,000 L以下	4,000 L以下	4,000 L以下	4,000 L以下
効率的に業務を実施し 継続的な 事業展開を する	1. 収集運搬作業の効率アップ (委託、定期) 2027年度まで作業人工2016年度 対比10%削減を維持する 2016年度実績: 9355.4人工	2028/3/31	事業部長	10%削減を維持	10%削減を維持	10%削減を維持	10%削減を維持	10%削減を維持
				8,419.9 人工以下	8,419.9 人工以下	8,419.9 人工以下	8,419.9 人工以下	8,419.9 人工以下
	2. 車輛の修繕費用削減 2027年度まで2012年度対比 20%削減を維持する 2012年度実績: 22,092,726円	2028/3/31	車両管理者	20%削減を維持	20%削減を維持	20%削減を維持	20%削減を維持	20%削減を維持
				17,674,181 円以下	17,674,181 円以下	17,674,181 円以下	17,674,181 円以下	17,674,181 円以下
提供するサービスの改善	1. 持込客の利便性向上 (中間処理施設の維持と改善含む) 持込客数を 2027年度までに2017年度対比 15%UPする 2017年度実績: 14, 227件	2028/3/31	総務部長	11%UP	12%UP	13%UP	14%UP	15%UP
				15,792 件以上	15,934 件以上	16,077 件以上	16,219 件以上	16,361 件以上

二酸化炭素排出量(電力)排出係数

日本テクノ株式会社: 0.465kg-co2/kwh

東京電力: 0.398kg-co2/kwh

※化学物質については、自社制作コンテナの塗装用として塗料1斗缶1缶、シンナー1斗缶2缶、硬化剤4L缶1缶程度を保管し、1年間で使用しない時もあり、使用した場合でも微量である為、環境経営目標の策定は行わず、適性に管理している事を6ヵ月に1度定期的に確認します。

環境経営計画

2024年度（運用期間:2024年4月～2025年3月）

項目	目標	達成期限	責任者	活動項目
二酸化炭素の排出量削減	1. 二酸化炭素排出量の削減 2027年度まで2023年度対比2%削減 2024年度 0.5%削減	2025/3/31	総務部長	2から3の活動を実施する
	2. 電力使用量の低減 2023年度から2027年度までに 2007年度対比25%低減から 27%低減にする 2024年度 25.5%低減	2025/3/31	総務部長	1. ムダな電力使用の低減継続実施 (1) 消灯の徹底(毎日) (2) 空調温度設定(夏26～28℃ 冬20～22℃) (3) 空調フィルター清掃 6月9月12月3月 (4) 省エネタイプへの変更・検討・実施
	3. 業務用車両の燃料使用量の低減 2023年度から2027年度までに 2007年度対比10%低減から 12%低減にする 2024年度 10.5%低減	2025/3/31	事業部長	1. 燃費の改善 (1) 省エネ運転の継続実施(トライエ ス活動の継続実施) 2. ルート見直しで無駄削減 3. 低燃費車両の導入検討
	4. ソーラーパネル発電の維持管理 50,000kwh/年 以上発電	2025/3/31	管理係	1. 維持管理 毎月の発電量をチェックして異常を察知する 2. 故障の速やかな修理を実施
廃棄物排出量の削減	1. 廃プラスチックのリサイクル率向上 2027年度迄に廃プラのリサイクル率 を2022年度対比10%向上する 2024年度 54%以上	2025/3/31	中間処理 班長	1. 分別作業方法の改善 2. リサイクル方法の見直し 3. リサイクル品の物量確保
	2. 事業系一般廃棄物の削減 2024年度 実績把握	****	総務部長	1. ミックスペーパーの分別徹底 2. 機密書類のシュレッダー活用促進 3. コピー用紙の両面利用
水使用量の削減	4. 地下水使用量の削減 2027年度まで2019年度対比 40%削減を維持する 使用量年間4,000 L 以下	2025/3/31	委託可燃 班長	維持管理 1. ホースノズルの故障チェック 2. ホースの穴開きチェック交換
効率的に業務を実施し継続的な事業展開をする	委託、定期収集 2027年度まで作業人工2016年度 対比10%削減を維持する	2025/3/31	事業部長	1. 監督者が状況確認して車両数を調整する 2. 定期収集ワマン化を推進する 3. 収集ルートの改善
	2. 車両の修繕費用削減 2027年度まで2012年度対比 20%削減を維持する	2025/3/31	車両管理者	1. 不具合車両の早期発見(チェックする) 2. 故障車両の早期修理 3. エンジンオイル変更等による改善実施
提供するサービスの改善	1. 持込客の利便性向上 (中間処理施設の維持と改善含む) 持込客数を2017年度対比 2024年度 12%UPする	2025/3/31	総務部長	1. 荷受け業務の受入方法改善

活動内容

1. 燃費の改善、省エネ運転の実施（トライエス活動）・走行管理表で燃費を管理しています。

安全運転とは

エコドライブ・安全運転のポイント

「ゆっくり発進して ゆっくり停止」



エコドライブ・安全運転のポイント

「ゆっくり発進して、ゆっくり止まる」

「発進と停止」により、燃費が7割決まってしまう

重大事故の6割が交差点内で起こっています。
交差点は発進と停止の繰り返しでありますので、
「ゆっくり発進してゆっくり停止」が出来れば、
事故の確率が大幅に低下致します。

乗務員用資料

走行管理表ってなに？

■走行管理表とは
手書きによる燃費記録ツールです。給油ごとの燃費データを記録します。

以下の点にご注意ください

- 車両ナンバーの確認
- 1車両につき1ヶ月に1枚使用
- 給油ごとに記録
- 走行距離と給油量を記入
- 原則、高タン給油

※乗務員の都合上、高タン給油ができない場合は、給油量のみ記入して下さい。

●手書きで行う



毎月月末に提出してください!!

株式会社 アスア

2. ムダな電力使用の低減継続実施

- ・空調温度設定（夏28℃）・ウィークリータイマーで運転時間を管理



3. 地下水使用量の削減

- ・ホースノズルの故障チェック
- ・高圧ホースの穴開きチェック



4.自動洗車機（シャワーホッパー）を導入して、節水対策
（同時に地下水の汲み上げポンプを節電）



環境経営計画の実績(運用期間:2024年4月～2025年3月)

項目	中長期目標	達成期限	責任者	2024年度目標	2024年度実績	評価	未達成の場合の対策等
二酸化炭素の排出量削減	1. 二酸化炭素排出量の削減 2027年度まで2023年度対比2%削減 2023年度実績:666, 529kg	2028/3/31	総務部長	0.5%削減	0.25%削減	未達成 1,645 kg不足	前年よりも減したが、目標達成率99.75%となってしまった。 電力、燃料使用量の目標は達成している、活動の見直しを行う。
				663,196 kg	664,841 kg		
	2. 電力使用量の低減 2023年度から2027年度までに 2007年度対比25%低減から 27%低減にする 2007年度実績:160,757kwh	2028/3/31	総務部長	25.5%低減	42.7%低減	達成	
				120,500 kwh以下	92,118 Kwh		
	3. 業務用車両の燃料使用量の低減 2023年度から2027年度までに 2007年度対比10%低減から 12%低減にする 2007年度実績:228,538L	2028/3/31	事業部長	10.5%低減	18.16%低減	達成	
				204,541 L以下	187,039 L		
	4.ソーラーパネル発電の維持管理 2017年度同程度を維持する 2017年度実績:53, 558kwh	2028/3/31	管理係	50,000kwh 以上発電	54,556 Kwh	達成	
廃棄物排出量の削減	1. 廃プラスチックのリサイクル率向上 2027年度迄に廃プラのリサイクル率を2022年度対比10%向上する 2022年度実績:50%	2028/3/31	中間処理 班長	54%以上	58.9% (8.9%向上)	達成	
	2. 事業系一般廃棄物の削減 2024年度の排出量を基準として 2027年度までに削減する (目標値は実績把握後に設定する) 2024年度実績:実績把握	2028/3/31	総務部長	*****	****	****	
水使用量の削減	4.地下水使用量の削減 2027年度まで2019年度対比 40%削減を維持する 2019年度実績:6,601L	2028/3/31	委託可燃 班長	40%削減を維持	51.5%削減	達成	
				4,000 L以下	3,320 L		
効率的に業務を実施し 継続的な事業展開を する	1. 収集運搬作業の効率アップ (委託、定期) 2027年度まで作業人工2016年度 対比10%削減を維持する 2016年度実績:9355.4人工	2028/3/31	事業部長	10%削減を維持	18.99%削減	達成	
				8,419.9 人工以下	7,579.2 人工		
	2. 車輛の修繕費用削減 2027年度まで2012年度対比 20%削減を維持する 2012年度実績:22,092,726円	2028/3/31	車両管理者	20%削減を維持	3.9%増加	未達成 3,555,123 円超過	インジェクション故障予防の為 オイル対策品でテスト中 大きなエンジントラブルは無かった 車両老朽化か車検代が高かったよう に思える
				17,674,181 円以下	21,229,304 円		
提供するサービスの改善	1. 持込客の利便性向上 (中間処理施設の維持と改善含む) 持込客数を 2027年度までに2017年度対比 15%UPする 2017年度実績:14, 227件	2028/3/31	総務部長	12%UP	14%UP	達成	
				15,650 件以上	16,224 件		

二酸化炭素排出量(電力)排出係数

日本テクノ株式会社:0.465kg-co2/kwh

※化学物質については、自社制作コンテナの塗装用として塗料1斗缶1缶、シンナー1斗缶2缶、硬化剤4L缶1缶程度を保管し、1年間で使用しない時もあり、使用した場合でも微量である為、環境経営目標の策定は行わず、適性に管理している事を6ヵ月に1度定期的に確認します。

※1 2024年度実績を踏まえて目標を設定する。

環境経営計画の取組結果(運用期間:2024年4月～2025年3月)

項目	目標	活動項目	取組結果	評価
二酸化炭素の排出量削減	1. 二酸化炭素排出量の削減 2027年度まで2023年度対比2%削減 2024年度 0.5%削減	2から3の活動を実施する		
	2. 電力使用量の低減 2023年度から2027年度までに 2007年度対比25%低減から 27%低減にする 2024年度 25.5%低減	1. ムダな電力使用の低減継続実施		
		(1) 消灯の徹底(毎日)	徹底されている	○
		(2) 空調温度設定(夏26～28℃ 冬20～22℃)	徹底されている	○
		(3) 空調フィルター清掃 6月9月12月3月	予定通り実施	○
		(4) 省エネタイプへの変更・検討・実施	未実施	×
	3. 業務用車両の燃料使用量の低減 2023年度から2027年度までに 2007年度対比10%低減から 12%低減にする 2024年度 10.5%低減	1. 燃費の改善 (1) 省エネ運転の継続実施(トライエ ス活動の継続実施)	毎月実施	○
		2. ルート見直しで無駄削減	佐野市ルート実施	○
		3. 低燃費車両の導入検討	増トン車購入	○
	3.ソーラーパネル発電の維持管理 50,000kwh/年 以上発電	1. 維持管理 毎月の発電量をチェックして異常を察知する	故障発見が遅れた	×
		2. 故障の速やかな修理を実施	修理が送れた	×
廃棄物排出量の削減	1. 廃プラスチックのリサイクル率向上 2027年度迄に廃プラのリサイクル率 を2022年度対比10%向上する 2024年度 54%以上	1. 分別作業方法の改善	軟質、混合の徹底	○
		2. リサイクル方法の見直し	運搬先を変更	○
		3. リサイクル品の物量確保	少々未達成	△
	2. 事業系一般廃棄物の削減 2024年度:実績把握	1. ミックスペーパーの分別徹底	徹底されている	○
		2. 機密書類のシュレッダー活用促進	一部実施されている	△
水使用量の削減	4.地下水使用量の削減 2027年度まで2019年度対比 40%削減を維持する 使用量年間4,000 L 以下	維持管理		
		1. ホースノズルの故障チェック	徹底されている	○
		2. ホースの穴開きチェック交換	徹底されている	○
効率的に業務を実施し継続的な事業展開をする	委託、定期収集 2027年度まで作業人工2016年度 対比10%削減を維持する	1. 監督者が状況確認して車両数を調整する	徹底されている	○
		2. 定期収集ワマン化を推進する	未実施	×
		3. 収集ルート改善	佐野市実施	○
	2. 車両の修繕費用削減 2027年度まで2012年度対比 20%削減を維持する	1. 不具合車両の早期発見(チェックする)	報告が未徹底	×
		2. 故障車両の早期修理	出来なかった	×
		3. エンジンオイル変更等による改善実施	今後の予定	×
提供するサービスの改善	1. 持込客の利便性向上 (中間処理施設の維持と改善含む) 持込客数を2017年度対比 2024年度:12%UPする	1. 荷受け業務の受入方法改善	受入事務所改裝	○

環境関連法規などの順守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

※関係機関からの違反等の指摘、環境関連の訴訟は過去5年間ありませんでした。(確認日:2025/04/20)

法令、条例等	監視、測定、分析、評価基準		順守評価
	許可・届出・報告・評価事項	法令条項及び法令基準値・自社基準	
廃棄物処理法	一般廃棄物収集・運搬業の許可申請	法、第7条第1項、2項→施行令、第4条の5	○
	一般廃棄物処分業の許可申請	法、第7条第1項、2項→施行令、第4条の5	○
	産業廃棄物収集・運搬業の許可申請	法、第14条第1項、第2項→施行令、第6条の9	○
	産業廃棄物処分業の許可申請	法、第14条第6項、第7項→施行令、第6条の11	○
	特別管理産業廃棄物収集・運搬業の許可申請	法、第14条の4	○
	一般廃棄物、実績報告書提出	法、第18条→市町長からの指示	○
	事前協議 千葉県(最終処分)	千葉県県外産業廃棄物の適正処理に関する指導要綱第3	○
	特別管理産業廃棄物収集運搬業講習会	法、第14条の4 規則第10条の12	○
	産業廃棄物処分業講習会	法、第14条 規則第10条の4	○
	産業廃棄物、実績報告書提出		○
	優良産廃処理業者認定制度情報開示の更新		○
	産業廃棄物管理票交付状況等報告書		○
	産業廃棄物の保管施設管理状況の確認	廃棄物の処理法律施行令 第三章 第六条 ロ(3)	○
	積替保管施設定期報告	栃木県廃棄物処理に関する指導要綱第32条第3-13	○
	処理困難時における委託者への通知		○
	再生材、ストック量および生産予定量の報告		○
	再生碎石の材料試験成績表の提出		○
	一般廃棄物収集・運搬についての帳簿	法、第7条第15項、第16項	○
	1)記載事項	施行規則、第2条の5第1項	○
	2)記録の保存:5年間	施行規則、第2条の5第3項	○
(自社廃棄物分)	産業廃棄物収集・運搬・処分についての帳簿	法、第14条第15項	○
	産業廃棄物、委託契約書	規則、第8条の4の3	○
	産業廃棄物管理票(積替保管、中間処理後の運搬)	規則、第8条の26	○
	設備点検、検査	規則、第12条の6	○
	一般廃棄物を自らの責任で適正に処理	法、第3条	○
	産業廃棄物を自ら処理するか業者に委託する	法、第3条	○
	産業廃棄物を適正に保管	法、第3条	○
	産業廃棄物を委託する場合は委託契約書を締結す	法、第12条	○
	産業廃棄物を委託する場合はマニフェストを交付す	法、第12条の3	○
	産業廃棄物マニフェスト交付等状況報告書を提出す	法、第12条の3の7項	○
栃木県条例	地下水採取量報告	栃木県生活環境の保全に関する条例(指定掲揚施設)	○
ダイオキシン法	測定(排出ガス、ばいじん・焼却灰)		○
	測定結果報告	法、第28条	○
	事故発生時の報告	法、第23条	○
騒音規制法	事務所西側境界角他3か所	法令基準値:65db以下 自社基準値:65db以下	○
振動規制法	事務所西側境界角他3か所	法令基準値:65db以下 自社基準値:65db以下	○
水質汚濁防止法	水素イオン濃度(水素指数)	6.5以上8.0以下	○
	生物化学的酸素要求量(BOD)	20mg/L以下	○
	浮遊物質	20mg/L以下	○
	nヘキサン(動植物油類)	5mg/L以下	○
浄化槽法	保守点検	法、第10条 記録の保存:3年間	○
	清掃	同上	○
	定期検査	法、第11条 記録の保存:3年間	○
PRTR法	排出量、移動量の把握及び届出(ダイオキシン)	法、第5条→規則、第5条、第6条	○
消防法	防火管理者の選任届出	法、第8条	○
	消防用設備等点検	法 第7条の3の3	○
	地下タンク及び地下埋設配管の漏れの点検	危険物の規制に関する規則」第62条の5の2及び3、	○
	同上 在庫管理又は漏洩検知管	日常点検 「危険物の規制に関する規則」第62条の4、	○
地方自治法 競争入札資格	栃木県(一般・産業廃棄物処理、物品)		○
	足利市(清掃、一般・産業廃棄物処理、物品)		○
	佐野市(清掃、一般・産業廃棄物処理、物品)		○
	群馬県(一般・産業廃棄物処理、物品)		○
	日本赤十字病院		○
建築物における衛生的環境の 確保に関する法律	足利市(法定外公共物使用許可(水路))		○
	貯水槽清掃作業監督者講習会	施行規則第28条第4号イ	○
フロン排出抑制 法			○
	簡易点検(全ての業務用空調機器)	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	○
労働安全衛生法	廃棄時のフロンガス適正処理	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	○
	36協定	労働基準法 第36条	○
	安全管理者、衛生管理者、産業医の選任	労働安全衛生法第10条(施行令第2条、規則第2条)	○
	特定自主検査(月次 4月～2月、年次 3月)	月次 施工例第15条、年次 法、第45条	○
	月次は毎月自主点検	クレーン等安全規則 第77条	○

2024年度 代表者による全体の評価と見直し・指示の記録

実施日		2025 年 4 月 5 日
インプット情報(資料名)		
① 前回に実施した「代表者による全体の評価と見直し・指示の記録」		
② 外部及び内部の課題抽出及びマネジメントシステム計画表		
③ 順守事項一覧表(ファイル式)		
④ 外部環境情報連絡処置書		
⑤ 不適合報告書、是正処置指示・処置書		
⑥ 環境経営計画、実績、取組結果		
⑦ 組織図、車両管理一覧表、		
⑧ 環境経営方針		
評価項目	資料名	社長による全体の評価と見直し・指示
前回の評価と見直し・指示 に対する処置の状況	①	見直しの有無: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> 無し 処置できています。
社会情勢・取引先・法改正 等の状況と動向	②	見直しの有無: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> 無し 別紙を参照してください。
環境関連法令その他の要 求事項の順守状況	③	見直しの有無: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> 無し 継続してください。
外部からの苦情・要望・対 応結果	④	見直しの有無: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> 無し 問題ありません。
是正処置、予防処置の結 果	⑤	見直しの有無: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> 無し CO2削減目標が、達成出来るように是正してください。
環境目標、経営計画の達 成状況、環境負荷の状況	⑥	見直しの有無: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> 無し CO2削減、車両の整備費削減目標が達成できるよう に、努力してください。
環境経営システム(実施体 制)の有効性及び妥当性	⑦	見直しの有無: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> 無し 良いと思います。
環境経営方針の見直しに ついて	⑧	見直しの有無: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> 無し 継続して活動してください。
その他改善のための意見	なし	見直しの有無: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> 無し 別紙を参照してください。

別紙

環境目標、経営計画の達成状況、環境負荷の状況について	実施方法
1. 委託業務、定期収集業務のルート管理、効率化を目的としてWOOMSを導入し、活用方法を樹立する事。	環境経営活動で実施 収集運搬作業の効率アップ活動
2. プラごみ分別開始に備える為、ミックスペーパーや段ボール収集の効率化、市外定期収集の効率化を図る為、分別用パッカー車を検討する事。	環境経営活動で実施 収集運搬作業の効率アップ活動
3. プラごみ回収が開始された際に、電子マニフェストによる対応が出来るように、導入してシステムを構築しておく事。	事業計画で実施
4. ミックスペーパー、小口のダンボール収集について、効率化を図る事。	環境経営活動で実施 収集運搬作業の効率アップ活動
5. プラごみの分別が開始された際の、運搬先、収集方法を研究しておく事。	事業計画で実施
6. パッカー車の洗車について、洗車設備を導入して、効率化、簡素化(作業員の為)を図る事。	環境経営活動で実施 車両の修繕費削減活動
7. 電子マニフェストの運用を、更に進める事。	事業計画で実施
8. 電子契約書について、調査する事。	事業計画で実施
9. 総務、営業、整備の各後継者を育てる事。	事業計画で実施
10. 売掛客に対する、売買契約書、顧客を特定する為の手段を構築する事	事業計画で実施

環境経営計画

2025年度（運用期間:2025年4月～2026年3月）

項目	目標	達成期限	責任者	活動項目
二酸化炭素の排出量削減	1. 二酸化炭素排出量の削減 2027年度まで2023年度対比2%削減 2025年度 1.0%削減	2026/3/31	総務部長	2から3の活動を実施する
	2. 電力使用量の低減 2027年度まで2023年度対比2%削減 2025年度 1%削減	2026/3/31	総務部長	1. ムダな電力使用の低減継続実施 (1) 消灯の徹底(毎日) (2) 空調温度設定(夏26～28℃ 冬20～22℃) (3) 空調フィルター清掃 6月9月12月3月 (4) 省エネタイプへの変更・検討・実施
	3. 業務用車両の燃料使用量の低減 2027年度まで2023年度対比 燃費を2%向上させる 2025年度 1%向上	2026/3/31	事業部長	1. 燃費の改善 省エネ運転の継続実施(トライエ ス活動の継続実施) 2. 低燃費車両の導入検討
	4. ソーラーパネル発電の維持管理 50,000kwh/年 以上発電	2026/3/31	管理係	1. 維持管理 毎月の発電量をチェックして異常を察知する 2. 故障の速やかな修理を実施
廃棄物排出量の削減	1. 廃プラスチックのリサイクル率向上 2027年度迄に廃プラのリサイクル率 を2022年度対比10%向上する 2025年度 56%以上	2026/3/31	中間処理 班長	1. 分別作業方法の改善 2. リサイクル方法の見直し 3. リサイクル品の物量確保
	2. 事業系一般廃棄物の削減 2025年度 目標設定	****	総務部長	1. ミックスペーパーの分別徹底 2. 機密書類のシュレッダー活用促進 3. コピー用紙の両面利用
水使用量の削減	4. 地下水使用量の削減 2027年度まで2019年度対比 40%削減を維持する 使用量年間4, 000 L 以下	2026/3/31	委託可燃 班長	維持管理 1. ホースノズルの故障チェック 2. ホースの穴開きチェック交換
効率的に業務を実施し継続的な事業展開をする	委託、定期収集 2027年度まで作業人工2016年度 対比10%削減を維持する	2026/3/31	事業部長	1. 監督者が状況確認して車両数を調整する 2. 定期収集ワマン化を推進する 3. 収集ルート of 改善
	2. 車輛の修繕費用削減 2027年度まで2012年度対比 20%削減を維持する	2026/3/31	車両管理者	1. 不具合車両の早期発見(チェックする) 2. 故障車両の早期修理 3. エンジンオイル変更等による改善実施
提供するサービスの改善	1. 持込客の利便性向上 (中間処理施設の維持と改善含む) 持込客数を2017年度対比 2025年度 13%UPする	2026/3/31	総務部長	1. 荷受け業務の受入方法改善